Beautiful campaigns on the go
Create, edit and send in the Mailchimp mobile app
★★★★★ (7K)
GET

202508KeMCo sent

View report

View this email in your browser

KeMCo

飯沼観音圓福寺嵯峨本コレクション
撮影：村松桂（株式会社カロワークス）

大河ドラマ「べらぼう」と並走するような展覧会となった「夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション」展は、大好評のうちに閉幕を迎えました。
次回展は美しい典籍をご紹介します。至高の版本をどうぞご覧ください。

KeMCoの近況

【閉幕】夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション

うつくしいひと、
薫りたつ。
歌麿

6月より開催していた展覧会「夢みる！歌麿、謎めく？写楽—江戸のセンセーション」は好評のうちに閉幕いたしました。
「高橋誠一郎 浮世絵コレクション」を紹介した本展は「ゆめなぞ」の愛称でSNSでも話題にしていただき、会場では「大河ドラマの人物たちを思い出します！」と感想をいただくこともしばしばでした。
「ゆめなぞ」は閉幕しますが、大河ドラマ「べらぼう」はまだまだ続きます。これからもドラマを見て、時々でも本展を思い出してくださる方がいらっしゃったら…ありがた山でございます。

【次回展】慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

『伊勢物語』慶長13年（1608）刊、嵯峨本第1種本、2巻2冊、相応院旧蔵
撮影：村松桂(株式会社カロワークス)

まぼろしの豪華活字本の実像に迫る展覧会

日本の書物史に燦然と輝く美麗活字版本「嵯峨本」の、世界有数の貴重なコレクションが慶應義塾ミュージアム・コモンズ（KeMCo）にて“揃い踏み”！展示室を埋め尽くすように並ぶ嵯峨本の数々は、まさに圧巻です。膨大な時間と高度な技術を惜しみなく注いで作られた、豪華絢爛な嵯峨本の世界をぜひご堪能ください。

慶應義塾ミュージアム・コモンズ×飯沼観音圓福寺
嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢
会期｜2025年 9月30日（火）－11月28日（金）
特別開館｜ 10月4日（土）、11月15日（土）
臨時休館｜ 10月6日（月）、11月17日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、予約不要

主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、飯沼観音圓福寺
協力｜慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫、慶應義塾大学三田メディアセンター
共同企画｜佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）
企画協力｜佐々木康之（文学部 准教授）

関連プログラム

展覧会に関連したプログラムを各種予定しています（すべて参加無料、事前予約制）。
各プログラムは事前予約が必要です。ウェブサイトをご確認の上、お申込みください。

シンポジウム「飯沼観音圓福寺と嵯峨本（仮）」
日時｜10月4日（土）13:30 ～
場所｜三田キャンパス東館8階ホール
登壇者｜平幡照正（飯沼観音圓福寺 住職）
高木浩明（近畿大学文芸学部 非常勤講師）
小秋元段（法政大学文学部日本文学科 教授）
佐々木孝浩（慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 教授）

トークイベント「嵯峨本の誘惑（仮）」

日時｜11月27日（木）18:15～
ゲスト｜松本久木（松本工房 デザイナー）
佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）

ギャラリートーク
日時｜10月20日（月）／11月15日（土）／11月28日（金） 各回14:00－14:45
話者｜佐々木孝浩（附属研究所斯道文庫 教授）
展覧会共同企画者によるギャラリートークを行います。

その他、展覧会に関連したプログラムを開催いたします。情報は随時ウェブサイトで公開いたします。

嵯峨本の誘惑：豪華活字本にみた夢

ご寄付のお願い

A
B
OBLワークショップ

展覧会関連ワークショップの様子（2025年8月開催）

KeMCoでは大学の貴重な文化コレクションを公開する企画展覧会を年に4回開催しています。展覧会は、たくさんの方に何度でも作品を見ていただくために、すべて無料で公開しています。
一方で、物価高騰の中で、展覧会開催の経費は増大しています。
KeMCoでは、大学ミュージアムとして、誰もが文化にアクセスできる社会を支えるべく、みなさまのご支援を得て、現在のありかたを継続していきたいと考えています。
KeMCoの展覧会活動の継続のために、みなさまからの温かいご支援をいただきたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

詳細とご寄付の方法は以下ウェブページをご覧ください。

Feedback

皆様からの温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお願い

Open StudI/O! #10

7月30日（水）31日（木）に、東別館8階KeMCo StudI/Oにて「KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ」を開催いたしました。
KeMCo StudI/Oにある撮影スペースは、高解像度のデジタルカメラや撮影用照明器具、接写台などを備えており、文化財をデジタル・データ化し研究・公開に向けた活動に活用できるよう設備が整えられています。本イベントは、この撮影リソースを学内に広く共有・周知する試みとして2022年より継続して行われているもので、今回は4回目の開催でした。今年は平面撮影・立体撮影ともに例年よりも多くのご応募いただき、ご見学の方もあわせて17名の方々にご参加いただき、一層の賑わいを見せました。
撮影対象は、掛け軸や和本、大小さまざまの西洋中世写本、作家の手帳などの研究資料、貝合わせなど多岐にわたりました。また、同じ洋書でも中のページを平面撮影で撮り、立体撮影デーでは、表紙の繊細な紋様を物質感を持って撮るなど、さまざまな角度からの撮影で作品に迫る方もいらっしゃいました。高解像度のカメラと文化財の撮影を専門とするフォトグラファーの技によって、肉眼では識別が難しかった細かな特徴が見えてくるなど、このイベントならではの撮影をご参加の皆さまに楽しんでいただけました。
本イベントは次年度も開催予定です。ニュースメールやウェブサイトでお知らせいたしますので、是非ご参加ください。

大前美由希（KeMCo学芸員）

空き地

LISBOA
LINGVAS DE GATO
PORTUGAL
PORTUGAL
Lisboa
Fado
PORTUGAL

KeMCoで活動している教員や所員のみなさんは、調査に研究発表にと国内外を飛び回っています。そして、嬉しいことにお土産を買ってきてくださることもしばしばです。
写真はポルトガル出張のお土産です。右上のおしゃれな猫の絵の箱には箔押しでイラストと「lingvas de gato」と書いてあります。機械翻訳で見てみましたが、これはポルトガル語で「猫の舌」という意味のようで、箱の中には楕円形の薄いチョコレートがぎっしり入っていました。確かに猫の舌を思わせる形と薄さです。
魚と長方形は、薄いコルクでできた栞です。なんともポルトガルらしい、あざやかなタイルの柄。この魚はイワシで、ポルトガルではよく食べられているそうです。実はこの他にもポルトガル名物「パステル・デ・ナタ」、エッグタルトもいただきましたが、写真で記録する前に食べてしまいました。味に見た目にとすてきなお土産は、仕事をあと一息！頑張るための体と心の栄養として、日々KeMCoのメンバーを癒してくれています。

眞下菜穂（KeMCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

「時代に生きよ、時代を超えよ」── 川口黎爾の直視
後期：7月9日（水）ー**8月8日（金）**
会場：慶應義塾大学アート・センター

ある一家の近代と戦争―上原良春・龍男・良司とその家族
6月19日（木）ー**8月30日（土）**
会場：図書館旧館2階 慶應義塾史展示館 企画展示室

第368回企画展示：みるぞ、万博。～資料でたどる博覧会の歴史～
7月21日（月・祝）～　9月20日（土）
会場：慶應義塾図書館 1階展示室 [三田]

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMCo Voiceは2025年9月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2025 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan

INTUIT mailchimp